

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	2336
部 名	財務部	課 名	管財課	課長名	新妻 隆之
事務事業名	庁用自動車購入事業（自動車リース）				
予算上の事務事業名	庁用自動車購入費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード				
基本目標	#N/A				
政策名	#N/A				
基本施策名	#N/A				事業開始年度
施策名	#N/A				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要					
計画名	概要				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
保有台数の適正化を図るため庁用自動車リース方式を導入し、車両購入費の初期投資の軽減と小型貨物車から軽自動車への更新により、燃料消費の軽減を図る。			相模原市庁用自動車		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
庁用自動車リース契約 導入量 軽貨物車（軽バン）10台 排気量660CC					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	3,853	5,793	7,273	10,670	12,170
一般財源	3,853	5,793	7,273	10,670	12,170
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	801	807	804	804	804
事業コスト合計	4,654	6,600	8,077	11,474	12,974
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	庁用自動車リース事業			対象名称 と単位	台
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	4,654	6,600	8,077	11,474	12,974
対象数	19	29	39	59	69
単位あたり経費(円)	244,947	227,586	207,103	194,475	188,029
前年度比		0.93	0.91	0.94	0.97

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	リース車導入率	指標式と指標の説明	リース車導入台数／庁用車保有台数×100 リース車両の導入率により効果を表す		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	7.4	10.9	15.0		
目標	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
目標達成度（%）	24.7	36.3	50.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	燃料消費率	指標式と指標の説明	当該年度燃料使用量／前年度燃料使用量×100 軽自動車の導入による燃料消費率により効果を表す		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	96.0	92.0	92.0		
目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
目標達成度（%）	93.8	97.8	97.8		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		保有台数の適正化及びリース車両の導入により車両購入費の初期負担が軽減されており、今後も推進していきたい。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
保有台数の適正化を図るため、管財課管理車両及び各課で管理する指定車両の稼働状況の把握に努める。			稼働時間が一時期（午前中や午後）に集中するなど、適正な保有台数を把握することが困難である。今後、効率的な運用方法を検討する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		効率的な事業実施内容を検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			